

製品安全データシート (SDS)
アケミ ダークナースーパー (Darkener Super)
 作成日 2018.7.24

1: 物質/混合物および企業情報

- 1) 製品名 **アケミ ダークナースーパー (Darkener Super)**
 品目番号 10940, 10941, 10939, 10943, 10944
 物質または混合物の関連する特定用途および 勧告された使用
 関連情報はありませぬ。
 物質/混合の適用 浸透性保護剤
- 2) 製造業者/供給者情報
 製造元/供給元 AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH
 製造元住所 Lechstrasse D90451 Nurnberg deuchland
 製造担当部門 AKEMI 研究部
- 3) 供給者/販売情報
 供給元/販売元 藤栄株式会社
 住所 〒587-0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25
 担当部署 貿易部
 TEL 06-6725-5236
 FAX 06-6725-3366

2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

分類 規制 (EC) No 1272/ 2008 に基づく



GHS02 引火性液体

Flam. Liq. 3 H226 引火性液体、蒸気



GHS08 人体に有害

Asp. Tox. 1 H304 飲み込み、気管に入ると致命的



GHS09 環境汚染

水生慢性 2 H411 長期暴露により、水生生物に有害

2.2 ラベル要素

規制 (EC) No 1272/ 2008 に基づくラベリング

製品は、CLP 規則に従って分類され、ラベルが付けられています。



GHS02,



HGS08,



GHS09

危険標識

シグナルワード 危険

危険成分とされるラベル:

Hydrocarbons, C10-C12, Isoalkanes, <2% aromatics

2, 2, 4, 6, 6-pentamethylheptan

Naphtha (petroleum), heavy alkylate

C11-15-Isoalkanes

ハザードステートメント

H226 引火性液体、蒸気

H304 飲み込んで気管に入った場合は致命的

H411 長期間の影響で水中生物に有害

注意書き

- P101 医療的アドバイスが必要な場合は製品の容器やラベルを持参してください。
 P102 小児の手の届かない場所に保管してください。
 P103 使用前にラベルを読んでください。
 P210 熱、熱された方面、火花、炎やその他の発火源から離してください。禁煙。
 P260 霧/蒸気/スプレーを吸い込まないでください。
 P273 環境に放出しないでください。
 P280 保護手袋を着用する。
 P301+P310 飲み込んだ場合はすぐに毒物センター/医師に連絡してください。
 P331 無理に吐き出さないでください。
 P302+P352 皮膚接触した場合、十分な水で洗ってください。
 P403+P235 低温で換気の良い場所で保管してください。
 P405 容器はしっかり密閉して保管してください。
 P501 内容物、容器は地元/地域/国/国際規制に従って処理してください。
 追加情報: EUH066 反復暴露により、乾燥肌、ひび割れなど引き起こす事があります。

2.3 他の危険有害性

PBT 結果と vPvB 評価

PBT: 適応なし
 vPvB: 適応なし

3: 組成/成分情報

3.2 化学的特性: 混合物

説明: 安全な添加物と以下の混合物質からなる
 危険物質:

EC number: 923-037-2

Reg.nr.: 01-2119471991-29-xxxx

Hydrocarbons, C10-C12, Isoalkanes, <2% aromatics 25-50%



Flam. Liq. 3, H226



Asp. Tox. 1, H304



Aquatic Chronic 2, H411

CAS : 13475-82-6

EINECS : 236-757-0

Reg.nr.: 01-2119490725-29

2, 2, 4, 6, 6-pentamethylheptan 25-50%



Flam. Liq. 3, H226



Asp. Tox. 1, H304

Aquatic Chronic 4, H413

CAS : 67-56-1

EINECS : 200-659-6

インデックス番号 : 603-001-00-x

Reg.nr.: 01-2119433307-44

Methanol

<1%



Flam. Liq. 2, H225



Acute Tox. 3, H301; Acute Tox. 3, H311; Acute Tox. 3, H331



STOT SE 1, H370

追加情報

記載された危険指示はセクション 16 を参照する。

4: 応急処置**4.1 応急処置の説明**一般事項:

具合が悪くなった人を新鮮な空気の中へ連れて行ってください。

横向きに安定させて搬送してください。

汚染した衣類は直ちに脱いでください。

吸引後:

新鮮な空気を供給し、必ず医師に相談してください。

皮膚接触後:

皮膚刺激が続く場合は、医師に相談してください。

水と石鹼でしっかり洗い流してください。

目に入った場合:

流水で数分間すすいでください。

それから医師に相談してください。

飲み込んだ場合:

症状が続く場合は医師に相談してください。

4.2 最も重要な症状と効果 (急性および遅発性)

呼吸困難

頭痛

めまい

吐き気

多汗

医者へのアドバイス:

炭化水素 (芳香) による中毒の症状 (約 30 g 投与)

a) 急性中毒: 頭痛、めまい、幸福感、胃腸機能障害、興奮状態、昏睡状態

b) 慢性中毒: 骨髄毒性障害、疲労、めまい、衰弱、運動の後の動悸、刃血球減少症、貧血、白血病

炭化水素中毒の治療:

吸引した場合、新鮮な空気を供給する

炭素薬の摂取管理をされている人は、胃洗浄液の挿管

痙攣をおこしている場合は、ジアゼパム 20mg の投与

危険

呼吸障害の危険性

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

飲み込んだ場合、活性炭を加えた胃洗浄をしてください。

5: 消防措置**5.1 消化剤**適切な消化剤: CO₂, 砂, 消火パウダー。大きな火災の場合は水スプレーや消火剤。安全性の理由から不適切な消化剤: フルジェット水**5.2 物質または混合物に起因する特別な危険性**

加熱中または火災の際、毒ガスを生成する可能性があります。

火災時、以下のものを放出します。

一酸化炭素 (CO)

5.3 消防士へのアドバイス保護具:

爆発ガス、燃焼ガスを吸い込まないでください。

保護服を着用してください。

自給式呼吸器を着用してください。

追加情報:

規定に従って火災の残骸と汚染された消化水は処分してください。

消火水は別で回収し、下水道に入り込まないようにしてください。

6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急措置

十分な換気を確保してください。

発火源から遠ざけてください。

煙/ダスト/エアロゾルの影響に対して呼吸用保護具を着用してください。

保護具を着用し、未着用の方は遠ざけてください。

6.2 環境に対する注意事項:

製品が水路または下水道に達しないようにしてください。

水路または下水道に浸透した場合は、関係局に通知してください。

下水/地表水/地下水には入らないようにしてください。

6.3 処理方法について:

液体結合物質（砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサルバインダー、おがくず）で吸収してください。

項目 13 にしたがって汚染物を処分してください。

換気を十分に行ってください。

6.4 その他の参照

安全な取り扱いについては、第 7 章を参照してください。

個人用保護具の情報については、第 8 章を参照してください。

廃棄に関する情報については、第 13 章を参照してください。

7: 取り扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

涼しく乾燥した場所で密閉した容器に保管してください。

熱と直射日光から遠ざけてください。

容器はしっかりと密閉してください。

室内の換気を良く行ってください。煙は空気より重いので、低い場所に換気口があるほうが良いでしょう。

火災情報と爆発防止:

発火源から離してください。-喫煙

静電気がおきないようにしてください。

7.2 安全な保管のための条件、不適合条件を含む

保管:

保管所、容器の条件

元の容器にのみ保管してください。

地面に浸透させないでください。

共通保管施設の情報

食品や酸化剤から離して保管してください。

保管状態についての追加情報:

容器は密閉し、換気の良い場所に保管してください。

7.3 特定の最終用途

有効な関連情報はありません

8: 曝露防止及び保護措置

技術設備の設計についての追加情報:

項目 7 を参照してください。

8.1 制御パラメーター

作業場でのモニタリングが必要な限界値の成分:

67-56-1 メタノール

WEL 短期値 : 333 mg/m³, 250ppm

長期値 : 266 mg/m³, 200ppm

Sk

追加情報:

有効な基本のリストは、作成中に使用されました。

8.2 曝露防止個人用防護服:一般的な保護と衛生対策:

作業中に飲食、喫煙しないでください。
 作業前に皮膚保護用クリームを塗布してください。
 食品、飲料、飼料から離してください。
 汚染した衣類はただちに脱いでください。
 休憩前と作業終了時に手を洗ってください。
 ガス/煙/エアゾルを吸引しないでください。

呼吸保護:

フィルター AX

短時間暴露または低公害の場合は、呼吸用フィルター装置を使用してください。
 大量、または長時間暴露する場合、自給式の呼吸保護具を使用してください。

手の保護:

皮膚保護材の使用による予防的な皮膚保護が推奨されています。
 保護手袋の使用後は皮膚洗浄剤と皮膚化粧品を塗布してください。

保護手袋

保護手袋なしでの使用では皮膚保護のために皮膚保護剤の使用が推奨されています。

STOKODERM (<http://www.stoko.com>)

皮膚保護剤と保護手袋との両方の使用が推奨されています。

STOKO EMULSION (<http://www.stoko.com>)

皮膚保護のため、製品の使用後は皮膚を洗浄することが推奨されています。

FRAPANTOL (<http://www.stoko.com>)

皮膚ケアのための保護剤の使用が推奨されています。

STOKO VITAN (<http://www.stoko.com>)

使用する保護手袋は、それぞれ指令 89/686/EC および指令 EN374 の仕様（例：上記の保護手袋の種類）に適合しなければならない。実験室の範囲内で推奨される保護手袋の材料サンプルを用いて生成され、確認された上記浸透時間のデータは、EN374 に準拠した KCL GmbH の任意で分析する。この推奨事項は、AKEMI と記載された適応箇所によつての提供された参照製品の安全データシートを参照する。

製品の希釈または異なる物質または化学物質との混合の場合、EN374 の逸脱の状態では、CE 承認の保護手袋の製造者に連絡し、詳細な情報を得る事。（例：KCL GmbH, Germany, 36124 Eichenzell, インターネット：<http://www.kcl.de>）。

手袋の材質は、不透過性で、製品/物質/製剤に対して耐性がなければならない。
 製品/成分/調合/化学混合物への耐性テストがされていない手袋素材は推奨できません。
 浸透時間、拡散速度および劣化度を考慮して手袋材料の選択をしなければならない。

手袋の素材

Fluorocarbon rubber (Viton)

Nitrile rubber, NBR

適切な手袋の選択は素材だけでなく品質や製造元によって異なります。製品はいくつかの物質を調合しています。手袋素材の耐性は事前には調べられませんので、適用前に確認する必要があります。

手袋素材の浸透時間

レベル ≤ 6,480 分

保護手袋の製造元より正確な破過時間を明確にし、厳守しなければいけません。

長期的接触に適した手袋素材

Fluorocarbon rubber (Viton)

Vitoject (KCL, Art_No. 890)

Nitrile rubber, NBR

Camatril (KCL, Art_No. 730,731,732, 733)

飛沫からの保護に適している手袋素材

Nitrile rubber, NBR

Camatril (KCL, Art_No. 730,731,732, 733)

手袋素材には適さない素材

レザー手袋
強素材手袋

目の保護: ぴったり密着したゴーグルを着用する

体の保護: 保護作業服を着用する

9: 物質的及び化学的性質**9.1 基本的な物理化学的特性についての情報**一般情報

外観: 流動的

色: 無色

臭い: 特徴的

pH-値: 適応なし

条件の変更

融点/ 硬化点: 未定

沸点/ 沸点範囲: 180 °C

引火点: >40°C

点火温度: 240 °C

自動点火: 製品は自動点火しない。

爆発性: 製品は爆発の危険はないが、爆発性の空気や蒸気が発生することがある。

爆発限界

下限値: 0.6 Vol%

上限値: 7 Vol%

20°Cでの蒸気圧: 1 hPa

20°Cでの密度: 0.85g/cm³

水への溶解性/ 混和性: 混和性はなく溶解しにくい

粘度

粘度性: 未定

20°Cでの動粘度性: 11 s(DIN 53211/4)

溶剤含有量:

有機溶剤: 59.7%

固体容量: 29.8%

9.2 その他の情報: 有効な関連情報はありません。

10: 安定性及び反応性

10.1 反応性 有効な関連情報はありません。

10.2 化学的安定性

熱分解/ 避けるべき状態: 仕様に従って使用すると分解しません。

10.3 危険な反応の可能性: 強酸化剤に反応し、引火性ガス/煙が発生する。

10.4 避けるべき条件: 有効な関連情報はありません。

10.5 混触危険物質: 有効な関連情報はありません。

10.6 危険有害成分分解生成物: 一酸化炭素と二酸化炭素

11: 有害性情報**11.1 毒性に関する情報**

急性毒性 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

LD/ LC50 分類に関連した値:**Hydrocarbons, C10-C12, Isoalkanes, <2% aromatics**

口腔 LD50 >5,000 mg/kg (rat)

吸引 LD50/8 時間 >5 mg/l (rat)

13475-82-6 2, 2, 4, 6, 6-pentamethylheptan

口腔 LD50 >5,000 mg/kg (rat)

吸引 LD50/8 時間 >5 mg/l (rat)

一次刺激作用:

皮膚腐食性刺激 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

<u>重大な目の損傷/刺激</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>呼吸作用もしくは皮膚感作</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>CMR 効果 (発癌性、突然変異原性、有毒性)</u>	
<u>生殖細胞変異原性</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>発癌性</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>生殖毒性</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>特定標的臓器有害性 (単回曝露)</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>特定標的臓器有害性 (反復曝露)</u>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<u>吸引性呼吸器有害性</u>	飲み込み、気管に入ると致命的のおそれ。

12: 生態学的情報

12.1 毒性

水生生物毒性:

Hydrocarbons, C10-C12, Isoalkanes, <2% aromatics

EL0/48 時間	1,000 mg/l (daphnia magna)
EL0/72 時間	1,000 mg/l (Pseudokirchneriella subcapitata)
LL0/96 時間	1,000 mg/l (Oncorhynchus mykiss)
NOELR/72 時間	1,000 mg/l (Pseudokirchneriella subcapitata)
NOELR/21 日	<1 mg/l (daphnia magna)

13475-82-6 2, 2, 4, 6, 6-pentamethylheptan

IC50/72 時間	>1,000 mg/l (Pseudokirchneriella subcapitata)
EC50/48 時間	>1,000 mg/l (daphnia magna)
LC50/96 時間	>1,000 mg/l (Oncorhynchus mykiss)

12.2 持続性及び分解性 有効な関連情報はありません。

12.3 生物蓄積性 有効な関連情報はありません。

12.4 土壌中の移動 有効な関連情報はありません。

追加環境的情報:

一般的な注意事項: 未希釈や多量の製品を地下水や水路に入らないようにしてください。
水危険性クラス 1 (ドイツ規制) (自己評価) 水に対してやや危険

12.5 PBT 及び vPvB 評価の結果

PBT: 適応なし

VPvB: 適応なし

12.6 その他の悪影響 有効な関連情報はありません。

13: 廃棄上の注意

13.1: 廃棄物処理方法

推奨事項

家庭ごみとは一緒に廃棄しないでください。製品は水路に入らないようにしてください。

ヨーロッパ廃棄カタログ

20 00 00 都市ごみ (家庭ごみや商業ゴミ、工業や制度廃棄物) 別で回収されたものも含む

20 01 00 別で回収されたもの (15 01 を除く)

20 01 13* 溶剤

未洗浄パッケージ:

推奨事項

容器は完全に空にしてください。洗浄した容器はリサイクルできます。

推奨洗浄剤:

アルコール、アセトン

14: 輸送情報

14.1 UN 番号

ADR, IMDG, IATA UN3295

14.2 国連の適切な出荷名

ADR 3295 炭化水素、液体、N.O.S.、環境的に有害

IMDG 炭化水素、液体、N.O.S.、海洋汚染

IATA 炭化水素、液体、N.O.S.

14.3 輸送危険性クラス**ADR**

クラス 3(F1) 引火性液体
ラベル 3

IMDG

クラス 3 引火性液体
ラベル 3

IATA

クラス 3 引火性液体
ラベル 3
無効

14.4 パッキンググループ

ADR, IMDG, IATA III

14.5 環境への有害

本品は環境に有害な物質が含まれています。

海洋汚染物質 シンボル (魚と木)

特別マーク シンボル (魚と木)

14.6 使用者のための特別な注意事項 警告：引火性液体

危険コード (ケムラー) : 30

EMS 番号 : F-E, S-D

積載カテゴリー A

14.7 Marpol と IBC コードの付属書 II のバルク輸送

適用無し

輸送/ 追加情報:

ADR

数量限定 (LQ) 5L
例外数量 (EQ) コード : E1
内包装の最大量 : 30ml
外包装の最大量 : 1000ml
輸送カテゴリー 3
トンネル規制コード D/E

IMDG

数量限定 (LQ) 5L
例外数量 (EQ) コード : E1
内包装の最大量 : 30ml
外包装の最大量 : 1000ml

国連 "モデル規制": 3295 炭化水素、液体、N.O.S.、3, III、環境的に有害

15: 規制に関する情報**15.1 物質または混合物に固有の安全性、健康及び環境に関する規制/ 法律**

2012/ 18/ EU 指示

付属書 I の危険な物質名

リスト上にはありません。

セベソカテゴリー

E2 水性環境に有害

P5c 引火性液体

適格な最低数量 (トン) 200t

適格な最高数量 (トン) 500t

規制 (EC) No 1907/2006 付属書 XVII

規制条件 : 3, 40

国際規制

用途制限についての情報:

雇用された青少年、妊婦または授乳中の女性の製品の使用は制限されなければいけない。

水質危害クラス:

水質危害クラス 1 (自己評価) 水性にわずかに有害

VOC EU

504.3 g/l

15.2 化学的安全評価:

化学的安全評価はまだ実施されていない。

16: その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、これは特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

関連フレーズ

H225 高濃度引火性液体、蒸気

H226 燃焼性液体、蒸気

H301 飲み込むと有害

H304 飲み込み、気管に入ると致命的

H311 皮膚接触に有害

H331 吸引すると有害

H370 臓器損傷を引き起こす

H411 長期影響にて水生生物に有毒

H413 長期暴露で水生生物に有害の可能性がある

推奨された使用の規制

テクニカルデータシート (TDS) を参照

SDS 発行部署:

工場

連絡先:

Dieter Zimmermann/ Elke Hake

Phone ++49 (0) 911 64296-59

E-mail E.Hake@akemi.de

略語と頭字語:

RID : 国境を越えた国際的な輸送は、鉄道による危険物の国際輸送に関する規則 (Regulations on Rail)

ICAO : 国際民間航空機関

ADR: 欧州連合 (EU) に関する欧州合意 道路による危険物の運送

IMDG: 危険物に関する国際海上コード

IATA: 国際航空運送協会

GHS: 化学品の危険有害性

EINECS: 既存の商業化学物質の欧州インベントリ

ELINCS: 通知された化学物質の欧州リスト

CAS: ケミカルアブストラクトサービス (アメリカ化学協会の部門)

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

PBT: 難分解性化学物質 (持続的な生物蓄積毒性)

vPvB: 極難分解性有害物質

Flam. Liq. 2 : 引火性液体 - 区分 2

Flam. Liq. 3 : 引火性液体 - 区分 3

Acute Tox. 3 : 急性毒性 - 区分 3

STOT SE 1 : 特定の臓器に有害 (一回被曝) - 区分 1

Asp. Tox. 1 : 吸入すると有害 - 区分 1

Aquatic Chronic 2 : 水生環境に有害 - 長期暴露 - 区分 2

Aquatic Chronic 4 : 水生環境に有害 - 長期暴露 - 区分 4

*前回のデータから変更されたデータ

REACH 1907/2006/EC 指令に従って適応

